

議会が **もっと** / 近くなる

# 市民の声

これからも  
農業を続けたい



廣瀬フジエさん (中島)

12年前に主人を亡くし、孫の面倒を見ながら農業をしています。週末は若い者が手伝ってくれます。将来は野菜の販売等もしたいと思っていますが、農業を続けるには米価が

安定することが大事だと思います。

合併後、住民の声が市に届きにくくなったと感じますが、今までつき合いのなかった地域の人たちとも知り合える農協婦人部の集い等で、さまざまな情報を得ることができるようになったので、よかったです。

農政関係の予算が  
少ないのでは？



加藤達男さん (吉田本町)

議会報はときどき読む程度です。政治には関心がありますが、議会の傍聴には行ったことがありません。燕市の

予算には、農政関係のものが少ないと感じます。

春キュウリ農家として3代目になりますが、ビニールハウスや農機具の買い替え等で、かなりの費用がかかります。国や県の補助金等の情報をいち早く私たちに伝えてほしいし、市としても何らかの補助金や助成をお願いしたいと思っています。

農業への取り組みに  
もっと力を入れて



山口 均さん (松橋)

一度行ったことのある議会傍聴は迫力がありましたが、市政に関する一般質問の中には、市政で取り上げる内容ではないと思うものがあるように感じます。

議会報については、議員の思いや考え方を長々と書くより、簡潔なQ & A形式にしたほうが、私としては読みやすいと思います。

燕市の農業に対する取り組みについては、もっと力を入れてほしいと感じています。せめて他自治体並みの取り組みを期待します。

「これが燕」という  
目玉品を



江村正樹さん (佐渡)

議会報は読んでいないし、傍聴に行ったこともありません。議会に対しては、それぞれの議員が自分の地域をよくしようという思いが強すぎると、市として全体のまとまりがなくなる気がします。

行政に対しては、市域が大きくなった分、声が伝わりにくい気がします。小さなことへの気づきを感じられない。お金をかけなくてもできることを、すぐにやってほしいです。

農業に対しては、農協との連携がない。農協と農業者と行政が一緒になって、農政を考える取り組みをしてほしいし、ホームページに関係団体のリンクを張ってほしい。少量農品(多品目)はよいが、「これが燕」という目玉品をつくるべきと思います。

## 編集後記

▼17ページでもご紹介したように、日本広報協会の「月刊広報3月号」に「つばめ市議会ノートブック」が紹介されました。私たちも見つけてビックリです。▼私たちが「読まれる議会報」にと、取り組んできたことが、少し報われたようで嬉しくなりました。 長井由喜雄

### 【議会報等特別委員会】

委員長：渡邊雄三 副委員長：齋藤紀美江  
委員：小林由明 樋浦恵美 タナカ・キン 長井由喜雄 齋藤信行

QRコードから  
議会のホーム  
ページへ  
アクセス

## 今号の表紙

鯉のぼりが元気に泳ぐ季節となりました。ツバメに引っ張られて、もっと高く高く舞い上がれ。

スマートフォンや  
タブレット端末から  
アクセスできます

